



## 年頭の挨拶 大杉中央執行委員長



組合員の皆様、御家族様、新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。年頭の挨拶としまして、安全について強く述べさせていただきます。

昨年12月16日鹿兒島線・千早操車場構内において、当組合員が死亡労働事故に見舞われました。謹んでご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様には心よりお悔やみ申し上げます。今後原因が明らかになるとは思いますが、触車死亡事故は平成19年7月以来の発生であり断腸の思いであります。また、昨年12月には、受傷者はいなかったものの名古屋(タ)において貨車脱線、稲沢駅構内において機関車脱線、百済(タ)において駅繫結装置解除失念し吊り上げ、広島(タ)駅において未繫結コンテナ着駅、東福山駅においてフランジがレール路面に乗り上げ、名古屋南貨物駅において吊り上げ脱線と、人命を脅かす事故が連続して発生しました。

年末年始・年度末はコンテナ取扱個数も増加しますが、安全は、「一丁目一番地」であり、働く者の安全確保が、ひいては鉄道全体の安全向上につながる。この認識に基づき、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大事故ゼロ」が最重要テーマになっていることを、再確認しなければなりません。日々の業務では、現時代の安全に対する認識を取り組んで頂きたいと切に思います。私は昭和57年に国鉄入社しましたが、研修ではトラックを使い、走行しているトラックから(動いている貨車に見立て)飛び降りの訓練を当たり前かのように行い、突放に

応じられるよう教育され、現場で生かされてきました。周知の通り、現在では突放作業は禁止となつていますが、「国鉄時代はこうだった」、「過去には、このようにやっていた」という危険な作業が今もなお現場で生かされているのなら、これは安全対策に対する最大のネックとなります。

確かに当時はそれで大丈夫だったのでありますが、これほど様々な事象が発生しその都度、対策が講じられ、今の安全対策となつています。また、ハード対策も常に進化しており、私達自身個々の能力を上げ対応しなければなりません。しみついた過去の基本動作は思い出し、現代の基本動作を忠実に守り、日々の作業をお願い致します。

昨年12月14日に「平成30年税制改正大綱」が発表され、JR連合国会議員懇談会、JR連合のお力添えで、JR貨物関係・軽油引取の免税特例延長、新車特例延長が盛り込まれました。1月19日からの通常国会にて審議され、認められれば、減税効果は14億円となり、この金額の一部を安全対策に投資すべきと訴えたいと思っております。

## 新年のあいさつ JR連合・松岡会長



新年明けましておめでとうございます。

2018年の新春を組合員・ご家族とともに健やかに迎えたいとお喜び申し上げます。また、JR連合運動へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。

まず、昨年はJR発足30年とともに、JR連合結成25年の節目の年となり、この間のJR労働運動の築き上げてきた軌跡を振り返れば、自由にして民主的な労働運動を基調とした諸活動の展開によって、今日のJR産業の発展に働く者の立場として寄与してきたところです。

そして、本年のさらなるJR労働運動の躍動にむけて、所感の一端を述べ、決意とさせて頂きます。

一点目、安全の取り組みです。JR連合は今日まで安全確立を最重要課題に位置づけて運動を展開してきました。「ヒューマンエラー」の結果であり、原因ではない「との理念を基調として取り組みを進め、働く者への安全確保にむけて愚直に進めてきています。しかしながら、昨年の大会以降も2件の労働者死亡事故が発生しています。本年も「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労働災害ゼロ」という最重要テーマの達成にむけて、5月にJRグループ全体の安全確立にむけた「第100回安全シンポジウム」の開催などを通じて、JR各社・グループ会社・協力会社、それぞれの職場からの安全確立に取り組むこととします。

二点目、民主化闘争と組織強化・拡大の取り組みです。昨年の大会以降、民主化当該単組において10名の拡大を果たしましたが、JR労働界は残念ながら未だ三極構造にあり、JR連合・当該単組・支援単組が三位一体となり、真に民主的な労使関係を目指して民主化闘争の取り組みを展開していかねばなりません。一昨年の大会において、改めて民主化闘争へ決意を述べ、取り組みを推進してきましたが、本年は産別として関係各方面への発信をより強化し、改めて問題の大きさ・根深さ、変革の必要性を喚起するべく、一石を投じたいと考えています。

また、昨年9月にはジェイアール東海総合ビルメンテナンス労組が新規加盟し、JR連合はJR各単組(7単組)及びグループ労組(33単組)の100単組を組織することになりました。当面の目標である「100万人組織」の実現のため、そして、諸労働条件改善のためにも、組織化、さらには組織強化・拡大によって、JR連合運動の原動力を強固なものとし、諸課題解決にむけた着実な前進につなげていきます。

三点目、政策課題の取り組みです。JR連合は、「鉄道特性活性化PT」の最終答申を策定し、持続可能な人流・物流ネットワークの構築のために「チーム公共交通」及び「チーム地域共創」の形成を掲げていかなければなりません。地方議員団訪問などのフィールドワークにより地域の実態を把握し、国交省や政府、政治への提言を継続し、引き続き、鉄道施設の減災・防災と老朽化対策、整備新幹線、JR二島・貨物の経営支援策、税制改正などの政策課題解決に全力を傾注します。



また、政策課題の解決においては、政治との関わりが必要不可欠です。第8回衆議院総選挙の結果を踏まえ、国会議員懇談会や議員フォーラムの再構築とともに地方議員団所属議員らと連携を密にし、来るべき選挙においても推薦候補者の全員当選を目指す体制に強化していきます。

四丁目、「中期労働政策ビジョン」に基づく、2018春季生活闘争の取り組みです。引き続き連合が提起する「底上げ・底支え」「格差是正」を基本に、グループ労組への波及効果を生み出すべく、JRグループ全体で春闘をつくりあげていくとともに、積極的に支援体制を構築していきます。

さらには、新中期労働政策ビジョン策定PTを発足し、さまざまな労働環境・社会情勢の変化を視野に入れた活動の展開を通じた、「あるべき姿」を見据え、JR産業の発展に資する、より現実的な提言にむけて、活動を展開していきます。

最後に、JR連合八万一千名が一致団結し、諸課題の解決に取り組み、その先頭に立って奮闘することをお誓い申しあげ、新年のメッセージといたします。

### 小笠原副委員長挨拶



新年明けましておめでとうございませう。本年も宜しくお願い致します。

昨年の第33回定期全国大会で中央執行副委員長に就任しました小笠原です。昨年の第32回東北地区本部定期大会において、東北地区本部執行委員長にも選任され、現在兼任の身であります。職場は秋田総合鉄道部で乗務員をしております。

はじめに、昨年12月16日鹿児島線千早操車場構内において、死亡労災事故が発生しました。心よりご冥福をお祈りし、ご遺族様には心よりお悔やみを申し上げます。

昨年8月に東青森駅脱線事故、12月には名古屋(夕)脱線事故、稲沢駅脱線事故、千早操車場死亡労災と大きな事故が立て続き発生しました。安全最優先の取り組みを進めてきましたが、まさに痛恨の極みであります。安全最優先は、言葉だけでなく真に「安全を最優先する企業風土」として定着させるために、安全追求に妥協はしない姿勢と、経営トップから現場社員まで、会社に働くすべての人が安全確立の意識を共有できる、実効性のある地道な取り組みをしていかなければなりません。そして、「安全最優先の職場風土づくり」のために、安全衛生委員会の活用、「ヒヤリハット」「事故の芽」を積極的に報告し、事故を未然に防ぐことが大切です。

働くすべての人が会社の財産であり、「死亡事故・重大労災ゼロ」を目指し、悲惨な事故を二度と繰り返さないという強い決意を持ち行動していきたいと思っております。

今年の干支は「戌」です。戌と言えば「忠犬ハチ公」、私もハチの故郷秋田県大館市出身です。ハチは日本犬唯一の大型犬であり、秋田犬(あ

きたいぬ)として、国の天然記念物にも指定されています。秋田犬は飼いに良くなつく忠誠心が強い犬として、世界の人々に愛されています。我が家はトイプードルを飼っており、忠誠心はないようですが家族の一員として毎日癒しを貰っています。

昨年4月、会社発足から30年を迎えました。発足時は、旧国鉄長期債務を負担した上、財政支援策が十分に講じられないままの船出でありましたが、28年度は鉄道事業黒字化を達成しました。29年度も順調にいくばく鉄道事業黒字は達成出来そうではありますが、社員のモチベーションはどうでしょう?いつまで経っても改善されない低賃金、期待していた期末手当も低額回答と、このままでは社員の士気が下がり、会社の経営状況も下がるのではと悲壮感さえあります。会社は社員が働きやすい環境づくりを提供する義務があり、鉄道事業も大事ですが、連結決算の数字に着目し社員に還元する必要がありますが不可欠です。

とはいっても、会社の経営状況はまだまだ脆弱であり、これからはJR連合との関係を密にし、経営基盤の安定のため、経営支援策の継続・拡大・恒久化を目指し、期限切れをむかえる「新車特例・軽油取引税の免税特例」が今後も適用されるよう、また「青函共用走行に関する問題等」を積極的に取り組んでいきます。

最後に、組織拡大、民主化闘争完遂、安全安定輸送の継続、労働条件・職場環境の改善に向け精一杯取り組むことをご約束申し上げます。組合員のご多幸とご健康をお祈りし、新年の挨拶とします。本年もご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。

### 菊池北海道委員長挨拶



新年明けましておめでとうございます。日々、貨物の安定・安全輸送の確立と貨物民主化闘争に奮闘されている仲間の皆さん、大変ご苦勞様です。

昨年の第32回北海道地区本部定期大会で長きに渡り地区本部運動を牽引して頂いた、菅野委員長・平澤副委員長・三國書記長に代わり執行委員長に選出されました菊池克敏です。どうぞ、宜しくお願いいたします。

地区本部定期大会では、「安全の確立と組織拡大の達成に向けて、集中した取り組みをしなければならぬ年であり、今後の貨物鉄産労の存続に関わる最重要課題であると考え、新たな体制で取り組む」事を満場一致で確認してきました。

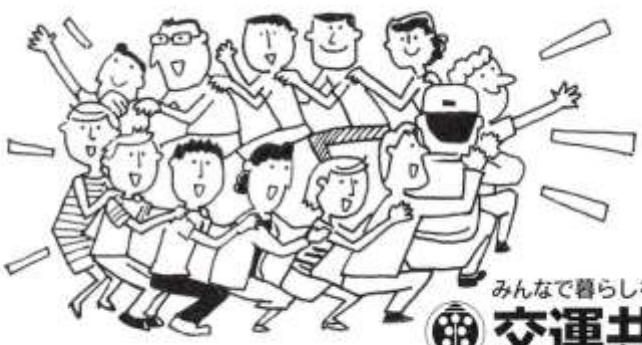
私たちにとって、安全の確立は最重要課題ですが、貨物会社の発足以降、現在に至るまで労働災害や事故の発生は後を絶ちません。昨年末の12月には、名古屋貨物ターミナル駅構内での脱線事故、稲沢駅構内での脱線事故、そして千早操車場構内での旅客列車との触車により、ともに働く仲間が亡くなるという、痛ましい死亡事故が発生しました。それぞれ

の事故の概況や詳細は今後あきらかにならぬと思いますが、しっかりと事故の発生原因や要因が何であるかを探り究明し、その上に立って対策を考えていく事が必要です。

二度と事故を起こさない為に何が必要か「ヒューマンエラー」は結果であって原因ではない」との基本理念のもと、「人間は必ずミスをする」ことを大前提に職場の

## 「支え合い」は「ささえ愛」。仲間みんなで守り合いたい。

交運共済は、JRやJR関連企業で働く仲間を守る相互扶助の共済です。厚生労働省の認可を得て事業を行い、組合員とご家族の安心と生活をサポート。慶弔見舞金制度の総合共済から、火災、地震風水害、交通災害、生命、入院、マイカー、自賠責、総合医療と共済事業を展開し、幅広い保障体制を整えています。



みんなで暮らしをガード  
**交運共済**  
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合



中で「どうすれば安全か」と安全最優先の考え方をしっかりと考え合い、事故防止のためにはヒューマンエラーやその原因・要素に関する正しい認識を深め、起こった結果から事故防止につなげるための対策を検討するという、基本認識や安全文化を、労使ともに浸透させていくことが重要です。

また、JR連合を中心に取り組んでいる「安全指針」の内容の理解と浸透に努力し、業務や活動を通じて職場からの安全確立を図らなければなりません。さらに「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を最重点に、発生している実態を踏まえて「重大労災防止の行動指針」を活かした職場の安全確立の取り組みを継続して進めていく必要があります。

次に民主化闘争・組織拡大は私たちにとって最重要課題であり、これまでも継続して取り組んできていますが、地区本部としては2015年の札幌機関区分会での拡大を勝ち取った以降、拡大はされていません。

組織拡大は簡単ではない「これは多くの組合員が感じている事です。しかし簡単にできないことだからこそ、これまで地区本部としても日常普段からの付き合いや同じ働く仲間としてふれあう中で信頼関係を作り上げ、そして拡大に結びつけようという運動を展開してきました。さらに「一つの目標に対し、みんなが共有し、何でも話し合える、ストレスの無い楽しい組合にしよう」を基本にJR連合や貨物鉄産労の取り組みを目に見える形で実践することで、他労組組合員への働きかけや声掛けにつなげていく取り組みも継続してきました。

すぐには拡大できなくても、それぞれの職場での責任ある言動や行動、仲間を思いやり問題解決に向けて全員で取り組むなど、貨物鉄産労組合員の姿勢や貨物鉄産労の運動に共感してもらうことで、他労組組合員が脱退を決意する原動力になると思っています。

組織の減少は進んでいますが、この間、勇気を持って加入してくれた仲間のためにも具体的な組織拡大目標を掲げ取り組んでいくことが必要です。

いま具体的な成果は出ていなくても、それぞれの職場で地道な活動が繰り返されています。個人の頑張りに頼り、組織的な運動に発展させられない地区本部運動の弱さを克服し、個人から組織的な運動・取り組みへと発展させ民主化闘争・組織拡大を勝ち取るためにも、私は北海道地区本部の先頭に立ち、頑張っていく予定です。2018年は北の大地より組織拡大の情報を全国へ発信できますように、新執行部一丸となり一杯取組んでいきます。

北海道地区本部も全国の仲間の皆さんとともに頑張る事を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。共に頑張りましょう。

### 新井執行委員挨拶



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

私は、平成21年採用、今はなまき名古屋車両所に配属され貨車検修業務、現在は愛知機関区稲沢派出所において北海道と愛知県に配備されているDF200形式の内燃機関の整備を行っています。

私達の働く鉄道事業において最も重要なのは安全です。組合員の皆様におかれても、日頃より安全最優先で業務に取り組んでおられると思います。

昨年末は東海支社内で立て続けに脱線事故が発生し、鹿児島線千早操車場構内においては死亡労災が発生してしまい、残念でなりません。心よりご冥福をお祈りするとともに、ご家族の方々には心よりお悔やみ申し上げます。なぜこのような悲惨な事故が起きてしまったのか、労働組合として原因を追求し、会社に対し、さらなる安全対策を求めていかななくてはなりません。

次に組織についてです。私が鉄産労へ加入した時には、青年部組合員方が大変少ない状況でしたが、次第に加入が続き増加傾向になっていきます。しかし現実を見れば加入者よりも退職する組合員の方が多く、組織人員は減少の一途を辿っており組織拡大が急務です。昨年は東海と九州の地において組織拡大を果たしました。各職場においてもこれまで以上に組織拡大行動を盛り上げていかななくてはなりません。

今年も安全に対する取組み、また昨年以上の組織拡大に取組むこと目標とし、新年のご挨拶とさせていただきます。共に頑張りましょう。

### 2018年 中央執行委員

- |        |       |
|--------|-------|
| 執行委員長  | 大杉正美  |
| 執行副委員長 | 小笠原浩文 |
| 書記長    | 辻村和裕  |
| 執行委員   | 植岡大介  |
| 〃      | 吉永和史  |
| 〃      | 佐々木恭兵 |
| 〃      | 新井亮太  |
| 〃      | 鈴木哲夫  |
| 〃      | 加藤典久  |
| 〃      | 山崎俊実  |
| 〃      | 内山進   |
| 〃      | 小山達礼  |
| 〃      | 田中千絵  |

本年もよろしくお願ひいたします

## 人生を渡っていくには、しっかりした橋が必要です。

長い人生には、病気、交通事故、火災、地震…など、何が待っているかわかりません。安心できる暮らしの「架け橋」として交通共済が頼りになります。営利を追求しないぶん、少ない掛金で大きな保障が得られるのが大きな特徴。しっかりワイドにガードする、交通共済をお役立てください。



みんなで暮らしをガード  
**交通共済**  
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合